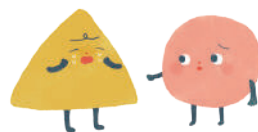


第6回 香川吃音のつどい

～広がろう 地域の吃音支援～



日時 2025年2月16日(日)
13:00～16:00 (12:30開場)



会場 高松市男女共同参画センター 学習研修室第1、2、3
(高松市松島町1丁目15-1 たかまつミライエ6階)



参加費 無料



託児 事前申し込みが必要 締切：2月7日(金)
対象：満6か月～就学前の子ども



対象 吃音のある人、吃音のある人のご家族、
吃音のある人の支援者(言語聴覚士、ことばの教室の先生など)、
吃音に関心のある人



内容 高松市で「ことばと発達支援室 cotobaco」を開いている
言語聴覚士の向井有里(あり)さんによる講演、グループ
トークなど

主催：香川言友会 <https://kagawagenyukai.jimdofree.com/>

後援：香川県

問い合わせ：香川言友会 090-7782-1600(佐々木) genkagawa4@gmail.com

高松市男女共同参画センター TEL 087-833-2282 FAX 087-833-2286

プログラム

12:30 開場

13:00 開会あいさつ

13:15～14:15 向井さん講演

14:15～14:30 休憩

14:30～15:00 質疑応答

15:00～15:50 グループトーク

(聞くだけでもOKです)

15:50 閉会あいさつ

講師紹介

向井有里（むかいあり）さん



【経歴】

三重県の総合病院リハビリテーション科・訪問看護ステーション、愛知県蟹江町保健センター / 教育委員会、名古屋大学発達心理科学教育センター、愛知県の母子通園施設などで勤務し、2022年に高松市で「ことばと発達支援室 cotobaco」を開業

【資格】

言語聴覚士、社会福祉士、子ども発達支援専門員、子ども摂食アドバイザーなど

吃音とは

吃音は、「スムーズに話せないこと」で、かつては「どもり」とも呼ばれていました。

具体的には、①繰り返し(例:おおおはよう)、②引き伸ばし(例:おーはよう)、③ブロック(例:…おはよう)の3つが「中核症状」とされています。しかし、吃音によって引き起こされる問題としては、「スムーズに話せないこと」そのものだけでなく、主にブロックが生じている時に顔面が震えたり、手足を動かしたりすることで異様な印象を与えてしまう「随伴反応」や、ブロックが解除されるまで時間を稼ぐために「えーと」などの空語句を多用したり、言いづらい言葉を言い換えたりする(例:「あ」で始まる言葉が苦手なので「兄」を「年上の男のきょうだい」と言う)ことで、意味の通じづらい発話内容になってしまう「工夫」、そして、どもることを恐れるあまり、話すことに消極的になってしまい、場合によっては深刻な社会不適応に発展していく可能性もある「回避」などが指摘されています。

そのため、表面的な中核症状の重さと、心理的な悩みの深さは必ずしも一致しません。

げんゆうかい 言友会とは

吃音のある人のセルフヘルプグループ(自助団体)です。

吃音体験を分かち合う「例会」を中心として、会報の発行や吃音に対する理解を求めるイベント開催などの取り組みを通して、会員それぞれが「吃音があっても豊かに生きる」ための方法を見つけるべく、活動を続けています。言友会は現在40以上の団体が活動しており、香川県の近隣地域では、愛媛言友会、徳島言友会、高知言友会、岡山言友会が活動しています。



〈つどい〉参加申込み方法

こちらのQRコードから事前にお申込みください。

氏名・連絡先メールアドレスなど必要事項をご入力ください。



申込み締切:2月7日(金)



会場へのアクセス

ことでん志度線今橋駅下車徒歩5分。

車でお越しの場合は、たかまつミライエ南側の立体駐車場をご利用ください。25分間100円。1階総合受付で来館証明を受ければ、最初の1時間が無料になります。